

慶應義塾大学SFC研究所と 覚書を締結

覚書を締結

11月24日に大山町と慶應義塾大学SFC研究所は、「大山町の地方創生に関する研究開発の連携協力に係る覚書」を取り交わしました。

今後、日本財団・鳥取県・慶應大学により共同開発された鳥取県の「つながりの豊かさ指標」を活用しながら、大山町の地方創生に関する研究開発に連携・協力しながら取り組みを進めます。



▶握手を交わす竹口町長と
玉村雅敏慶應義塾大学教授

*慶應義塾大学SFC研究所は、同大学湘南藤沢キャンパスに設置された、社会問題を解決するテクノロジーの開発やイノベーション、人材の育成に取り組む21世紀の先端研究をリードする機関です。

地域の健康づくりに寄与

11月6日に鳥取県庁で行われた栄養関係功労者知事表彰式で、大山町食生活改善推進員協議会名和支部が表彰されました。



▶表彰状を手にする杉原純子支部長

「すばらしい交流でした！」

テメキュラ訪問団が報告

中山国際交流協会

中山国際交流協会クリスマスパーティが12月16日に友好館でありました。

毎年行われている行事で、その年のテーマキュラ訪問団(中学生・大人)からの研修報告を聞いたあと、パーティを開始しました。

中学生が扮するサンタクロースの

キャンドルサーピスで始まったパーティでは、参加者が持ち寄った料理や琴の演奏、合唱団の歌などを楽しみながら、テメキュラ交流の思い出話に花が咲きました。

最後に、「ふるさと」を合唱し、活動の継続を約束しました。

食改・名和支部が知事表彰

昭和45年に名和町食生活改善推進員会として発足し、平成17年3月28日に名和町・大山町・中山町の3町合併を経て、大山町食生活改善推進員協議会名和支部となりましたが、47年間に亘る継続した活動の功績が認められたものです。

現在、名和支部の会員は74名。県や町および各地区の公民館で行う事業やイベント等にも積極的に参加し、食を通じた住民の健康づくりに貢献しておられます。

このたびの受賞おめでとうございます。



▲参加者全員で